

資料 F) 土嚢の積み方

土嚢の積み方には、増水状況や浸水現場によっていろいろな方法があります。基本的な積み方のいくつかを紹介しますので参考にしてください。

基本①

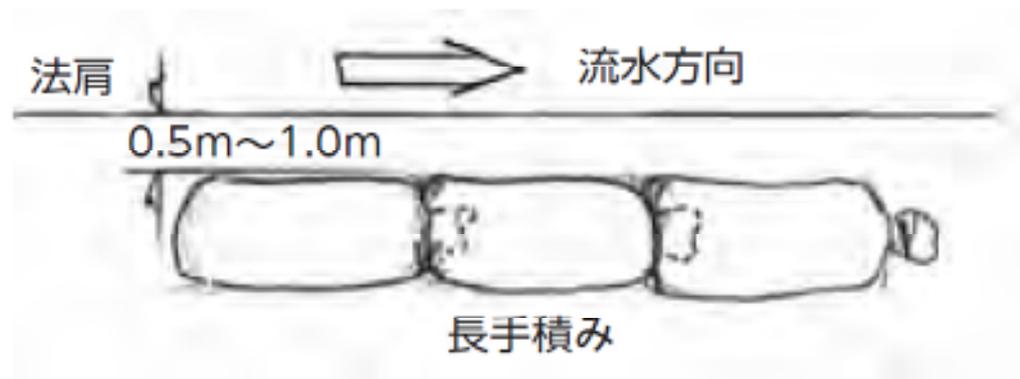
水の浸入防止のために置く場合、土嚢の結び口は上向きにし、水の無い側に。道路から水が入るのを防ぐ時には水の無い側へ向ける。

基本②

流れに沿って置く場合、底を上流に向けて積む。

基本) 長手積み

土嚢の底部を上流にして流水に平行（長手積み）に積み上げる。



- 断面として2段目は1段目の土のうの重ね合わせの上に2段目の土のうの中央付近となるように積み上げる。(漏水防止と安定性)



- 裏側の土のう積みは小口積みとする。2段目を積み上げるときは1段目の土のうの重ね合わせの上に2段目の土のうの中央付近となるように積み上げる。



四国地方整備局松山河川道路局 HP より

<http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/river/suibou%20kouhou%20Poket%20Book%20.pdf>

応用) 転落防止目的の置き方

用水路がオーバーフローした場合、水路が見えづらくなっている。こうした場合、等間隔で土嚢を置くことで、歩行者に水路のアウトラインを示すこともある。

50cm間隔くらいで、土嚢を置いていき、下図のように水路と思われるところを示してください。



用水路（オーバーフローして、水路と道路の境界が見えない状態）

土嚢の保存方法

①水に濡れた「土嚢」は天日で乾かします。

②乾いた「土嚢」は土が固まった状態になるので足で踏みつけるなどして中の土をやわらかくほぐしてください。



③やわらかくした「土嚢」は、何度でも使用することが出来ます。

注意事項

※配布した土嚢の回収処分は行っておりません。あらかじめご了承ください。

※雨でぬれないような場所（庭や玄関先等）で「すのこ」を敷くなどし、風通しを良くした上で保存してください。

※土嚢袋は可燃ゴミです。